

囲碁・将棋大会

市内の囲碁・将棋同好会の6月の例会結果です

福津市将棋同好会

今回は、9月9日(土)10:00から大和町公民館で開催します。

	1位	2位
A	春日 久行	滝口 純一
B	村本 健次	安松 辰男
C	秋山 元治	中村 勝利
D	安波 寛	花田 友行
E	渡辺 俊男	鶴田 邦雄
F	三村喜久治	高田 治夫

連 吉村 友行 ☎43・1308

福津市囲碁会

今回は、9月10日(日)9:50受付締め切りにより、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	有山 伸司	福田 豊
2	大野 政嗣	三原 敏男
3	田中 邦則	千綿 勝
4	小田 邦彦	藤井 修
5	柴田 繁男	森北 新吉
6	本畑 通明	中嶋 一
7	竹山 晃	城野 正雄

連 井本 雅文 ☎090・9796・1099

福津市実年囲碁会

今回は、9月5日(火)、9月26日(火)10:00受付締め切りで、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	福田 豊	今丸 濱
2	今泉 武志	宮崎 良一
3	山崎 和夫	牛垣 徹
4	藤井 修	林田 健介
5	広渡 直	内場 和光
6	能美 一丸	堺屋 光男
7	中嶋 一	高木 正信
8	高島 正憲	鶴留 昭
9	森山 英明	上野 象三
10	立花 基喜	春藤 哲雄

連 満生 忠雄 ☎43・2420

津屋崎囲碁同好会

今回は、8月27日(日)9:30から福津市文化会館で開催します。

	1位	2位
A	猪俣 征雄	魚住 洋二
B	岡田 和憲	藤井 修
C	佐藤 亘弘	伊藤 重信
D	田中 敏一	牧田 英昭

連 永島 和美 ☎52・5610

紙面の都合上、上位者のみの掲載です。(敬称略)

地域の日

●市郷育推進課 ☎62・5078

市では、奇数月の第3土曜・日曜日を「地域の日」と定めています。あなたも地域活動に参加しませんか。

市民水泳大会で2人が自己ベストを更新



▲9歳から84歳までの方が参加しました

第8回福津市民水泳大会が7月2日に県立光陵高校で行われました。気温34度の真夏日となりましたが、水の中でも大熱戦。最年長出場者の富松正則さん(84)は「屋外のプールで泳げる貴重な機会。光陵高校水泳部の皆さんのご協力に感謝します。」と語っていました。市の代表選手は8月20日(日)に北九州市で開催される県民体育大会に出場します。

あじさいロード

[地域婦人会だより]

地域婦人会員49人は6月19日、教養講座の一環として、3事業所の社会見学を行いました。まず、宮若市の自動車製造工場へ行き、プレス→溶接→塗装→組立→検査の各工程を見学し、世界に誇る品質を支えるロボットとスタッフが一体となった高い技術力に圧倒されました。次に、古賀市の海産物加工工場へ行き、食の安全を支える徹底した衛生管理の下での加工工程を見学しました。最後に、下水を処理する上西郷の福岡浄化センターへ行き、身近な環境を

支える仕組みを学びました。家庭などから流れ出る下水は、流入ポンプ棟→急速ろ過施設→水処理施設できれいにされ、塩素を加えた後、西郷川に放流されます。市内の下水道普及率は98%で、そのうち水洗普及率は70%に達しており、福岡海水浴場の水質は、Aランクを維持しているそうです。婦人会では、その他にも議会傍聴や裁判所見学、日赤救急法などの教養講座も行っています。皆さんも、私と一緒に学びませんか。問い合わせ 志満 ☎43・1189

このコーナーでは、地域婦人会の活動を紹介します。花見 永松百合子

アンビシャス広場

●市郷育推進課 ☎62・5078



アンビシャス広場とは、子どもたちが放課後や休日に地域で安心して立ち寄ることのできる「居場所」です。

つやざき小学校区アンビシャス広場の活動



▲帰りの会での司会の様子

つやざきアンビシャス広場は、毎週火曜・水曜日の放課後、津屋崎小学校多目的ホールで活動をしています。6月から新1年生が加わり賑やかな毎日です。子どもたちは、活動が終わると全員で雑巾がけをして、帰りの会では順番に司会をしています。最初は恥ずかしそうにいましたが、日ごとに上手になっていき、子どもたちの成長が見える一場面です。また、休日は料理や自然体験など様々な体験活動を楽しんでいます。

心の歌

市内の愛好会のかたの作品です。一般投稿の締め切りは、前月15日です。

受付 市中央公民館 ☎43・2100 FAX 43・2868

川柳(虹の会)

ランドセル私を持って歩きだす 小三 藤本
 絵日記に苦戦していた夏休み 久保山裕昭
 キャンプの夜熊が出るからボク寝ない 中村 稔
 風情無しゲリラ豪雨に花も散る 空谷 弘道
 青い鳥気付かないまま夏が逝く 榎根 わ子
 ゴミ収集のリズムに感謝今朝も雨 山本 忠
 今チャンス友の電話の助け舟 百武 海子
 14歳五角の勝負駆け抜ける 安井 秀子
 地味かしら姉の残したコート着る 中山 きえ
 黒板のあいあい傘に照れた頃 宮本ちどり
 岸を出て何処へ行くのかあの二人 東 浩子
 玉の汗かいて八月鶴を折る 下釜 京
 風鈴の音色に和む迎え盆 小林ふみ香
 里帰り様変わりした駅の貌 柳田 涼子
 老夫婦想い出語るあかね雲 井上 国治
 毛虫一匹誰かを探すように生き 水谷 そう美
 自由です寂しいほどに自由です 長井 兼春
 水光る往復切符二枚買う 河内やすこ
 世界遺産の島が背負っている使命 長井すみ子

【わたつみ短歌会詠草】

にこにこ話しかける知らぬ媼 銭花 治代
 話あわせて藤棚の下

眺めるも果報と言えば造り手も 富田 浮風
 果報と応える肥後の朝顔
 庭石にも落葉の積り草花が 野部 フクヨ
 細々と生え風に揺れおる
 玄関を明けた途端の俄雨 山形 四郎
 どうしてだろうこの飛沫よう
 大声に春眠に感光す 北 富れい子
 そろそろ主婦とならねばならぬ
 肌寒き初夏の風雨に傘さして 島崎 渚
 取えて歩かむ犬曳きし道

【一般投稿】

いち日の灯りが点る梅雨の窓 佐々木 冴子
 月すずし夜空みあげて星をおう 宮本 瞳
 青簾扇忘れし客のあと 浪の 翁
 蔓のばし根を張りながら陣地とり 都合 スミ
 短夜や葉仕分けて寝所へ 古賀新太郎
 全員集合老いて至福の夕の膳 中原 恵子
 信仰が継いでひとつ世界遺産 本間 碧水
 竹皮を剥ぐが如きの衣替え 中島 久次
 新茶のむ香りの中に茶摘の娘 藤井 和子
 半島の大峰山を越えてくる 佐々木 和彦
 玄海の気は秋の気配す 阿部 英子
 那覇空港整備ミスかな予定の機 川本 幸重
 中止飛ばずやと終便で 父の日や子より五本の酒もらふ 過去掘れば自慢とふ水湧き出する 甘味が虫食む己の心を 方木 修一
 (敬称略)